

令和7年度 石巻市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

石巻市（宮城県）

○計画期間:令和7年4月～令和12年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

第4期計画として令和7年4月から5年間を計画期間とし、「街なかの魅力を活かしさまざまなチャレンジが生まれ、安心して楽しく回遊できるまち」をテーマに各事業を実施しており、新規出店数の増加による街への関わりしろの増加を図ったほか、市民交流施設等の利用者数が拡大したことで、多世代が安心して集えるまちの実現に寄与した。

今年度の新規出店数は10店舗に達し、年度目標を大きく上回る好調な結果となった。多様な業種による出店は、「街なか創業・事業承継支援事業」やプレオープンとなった「街なか出店サポートセンター」の伴走支援、助成事業が奏功したと考えられ、空き地・空き店舗の活用や民間による新たな取組も実施された。

文化通りに「石巻ブンカボックス」が開設したことでチャレンジショップが設置され、新たな文化拠点の開発がなされたほか、「街なかイベント開催助成金」による12件の支援により、延べ1.4万人以上の集客を生み、新たな街なかの魅力向上や賑わいの創出に寄与した。

また、中瀬公園での社会実験や官民連携の取組である石巻まちなかエリアプラットフォームの設立により、エリア全体の将来ビジョンの共有が一段と進む結果となった。川沿いエリアでは、「いしのまき元気いちば」周辺の通行量が特に多く、エリア全体の賑わいを牽引しており、「石ノ森萬画館」の休館がありつつも、川沿いの2施設で計163万人超の集客が維持され、中心市街地全体の中心的な集客力を担う結果となった。他方、川沿いエリアのイベント数は基準値に届かなかったため、この部分は次年度以降の改善点となる。

依然として街なかの人口減少の課題はあるものの、令和7年度の事業進捗は総じて「順調」と評価できる。今後は、川沿いエリアや市民交流施設からの動線を商店街や石巻駅前周辺へ誘導する仕組みを強化し、活性化の効果を広げていくことが重要と考えられる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和6年度 (計画前年度)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
人口	2,635	2,566				
人口増減数	▲89	▲69				
自然増減数	▲53	▲49				
社会増減数	▲36	▲20				
転入者数	43	34				

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第4期計画期間において、中心市街地の都市像を「街なかの魅力を活かしさまざまなチャレンジが生まれ、安心して楽しく回遊できるまち」を目指し、計画に掲げ、各事業を遂行している。令和7年度は、新規出店数10店舗（令和7年～11年累計目標：30店舗）、市民交流施設利用者351,967人（令和11年目標：373,000人）、歩行者等通行量26,013人（令和11年目標：27,000人）、川沿い2施設の利用者1,630,648人（令和11年目標：1,661,000人）、川沿いエリアでのイベント数34回（令和11年目標：50回）という結果となり、目標値をクリアできた。

当協議会としては、目標数値に対して順調に進捗しているものの、中心市街地の人口減少や商店街の衰退が避けられないという課題を強く認識している。一方、外部からの集客においては、「いしのまき元気いちば」が道の駅のような機能を果たし、「石ノ森萬画館」がコアなファンから厚い支持を得ており、街中の集客機能の中心を担っている。特にコラボレーションイベントの開催時には、市外からの来訪と見られる若い世代の姿も多く見受けられた。

したがって、今後は現在の居住者や商店街の活性化を主軸とした「内部からの活性化」にとどまらず、当地域の強みである「石巻かわまちエリア」を中心に、イベントを開催し、外部からの集客によって賑わいを創出していくことが重要であると考えます。その際、新たな取り組みとして、市内の学生等と協力関係を築きながらイベントを実施することにより、若い世代に石巻への理解を深めてもらい、地元愛を育むきっかけをつくることできると見込んでいる。

このように、かわまちエリアを核とした事業を展開することで、中心市街地全体に広がり、地域活性化の兆しになると考えられるため、より一層、官民が密接に連携を図りながら、強力に推進していただきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 (R7)	基準値からの改善 状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の 見通し	今回の 見通し
訪れたいと思う 目的地の増加	新規出店数 (店舗)	新規設定	30 店舗 (R7～R11 累計)	10 店舗	—	—	A
誰にとっても居 場所があり交 流できる機会 の増進	市民交流施設 8 施設の利用 者数 (人/年)	306,154 人 (R5)	373,000 人 (R11)	351,967 人	B	—	A
中心市街地の 回遊性の向上	歩行者・自転車 通行量(人) ※18 地点	23,837 人 (R5)	27,000 人 (R11)	26,013 人	B	—	A
【参考指標①】 川沿い 2 施設(石ノ森萬画館、い しのまき元気いちば)の利用者数 (人/年)		1,576,973 人 (R5)	1,661,000 人 (R11)	1,630,648 人	B	—	A
【参考指標②】 川沿いエリア(かわまち交流広 場、かわまちオープンパーク(堤防 一体空間))でのイベント数		37 回 (R5)	50 回 (R11)	32 回	C	—	A

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

新規出店数が令和7年度単年の目標設定より多い結果となった。計画策定時の増加要因である「街なか出店サポート事業」で設置する「街なか出店サポートセンター」が令和7年度にプレオープンし、3か月営業を実施した。令和8年度以降は本格稼働開始となることから、さらに多くの方へ出店に必要な情報の提供や出店時のフォローアップを行うことができるようになる。加えて、同事業で空き地・空き店舗のリストアップも並行し

で行っているほか、「街なか創業・事業承継支援事業」、「創業支援事業」でも今後の新規出店に向けた機運醸成が図られていくと想定される。最新値は基準値を上回っている一方で、目標値を下回っている状況ではあるものの、単年度ごとの目標値を着実にクリアすることで令和11年度の最終目標は達成可能と見込まれる。

「市民交流施設8施設の利用者数」については、地域包括ケアを推進する拠点施設ささえあいセンターでの利用者数が特に多かったことで順調に推移した。今後も引き続き利用者数を増加させる取組やイベントの実施を計画している。最新値は基準値を上回っている一方で、目標値を下回っている状況ではあるものの、単年度ごとの目標値を着実にクリアすることで令和11年度の最終目標は達成可能と見込まれる。

「歩行者・自転車通行量」については、上記の新規出店数の増加や市民交流施設8施設の利用者数の増加に加え、「街なかイベント開催助成金事業」で12のイベント開催を支援したことによるイベント回数の増加や「文化通り再生事業」でのチャレンジショップのオープンなど、街なかの賑わいを創出する取組を多く実施することができた。今後も引き続きこうした事業を継続して実施していくことから、街なかを訪れる人の数は増加していくことが想定される。最新値は基準値を上回っている一方で、目標値を下回っている状況ではあるものの、単年度ごとの目標値を着実にクリアすることで令和11年度の最終目標は達成可能と見込まれる。

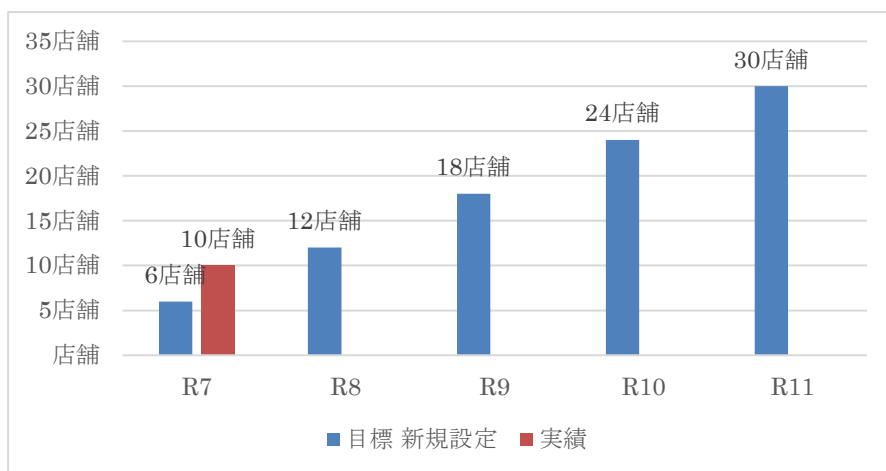
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「新規出店数(店舗)」※目標設定の考え方認定基本計画P.15参照

●調査結果と分析



区分	目標	実績
基準値 (R5)	新規設定	
R7	6店舗	10店舗
R8	12店舗	
R9	18店舗	
R10	24店舗	
R11	30店舗	

(内訳)

業種	飲食業	サービス業	小売業	その他
件数	3	2	3	2
詳細	カフェ、居酒屋、和食店	美容院、包括ケア	古着、美容品、八百屋	古物商、学生拠点

※調査方法： 全数調査

※調査月： 令和8年3月

※調査主体： 市、街なか出店サポートセンター

※調査対象： 中心市街地へ新規出店した店舗数

〈分析内容〉

新規出店数の増加に向けた各事業については、概ね順調に推移し、予定どおり完了した。「空き地・空き店舗活用助成金事業」を活用した新規出店が5件、それ以外が5件、合計10件の新規出店となった。これにより、令和7年度目標比166%の結果となった。これについては、「街なか創業・事業承継支援事業」や「街なか出店サポートセンター」のプレオープンでの効果が大きかったと想定される。また、業種についても飲食店や美容室、古着屋など街なかの賑わい創出に寄与するものが多かった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き地・空き店舗活用助成金（石巻市）

事業実施期間	令和3年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地の空き地・空き店舗の取得や賃借、リノベーション等を行う際に要する経費を助成することにより、遊休地の活用や新たな出店を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】30件（年間6件） 【最新値】5件 令和7年度は5件の助成を実施した。令和6年度と比較すると1件のみではあるが件数が増加したものの、年間目標値には1件届かず、目標未達成となった。
事業の今後について	令和8年度は、街なか出店サポート事業との連携を深めることで新規出店を見据える創業者にダイレクトに情報を届けるなど、情報発信回数の増加や内容改善を図ることでさらなる助成件数の拡大を図っていく。

②. 街なか出店サポート事業（石巻市、民間事業者）

事業実施期間	令和7年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地の空き地・空き店舗等の調査・整理を実施するとともに、中心市街地内の出店を検討している事業者への不動産情報の提供や事業計画立案支援を行う窓口として（仮称）街なか出店サポートセンターを設け運営する。
国の支援措置名及び	【支援措置】

び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	街なか出店サポートセンターは令和8年1月から3か月間のプレオープンを実施し、延べ21名への相談支援を行うとともに、中心市街地の空き地・空き店舗の状況調査を実施し、登記簿情報等を確認した上で地権者と面談。貸与の意向がある物件については、出店サポートセンターで情報提供を行うなど、中心市街地への新規出店に向けた機運醸成を図った。
事業の今後について	令和8年度からは本格稼働として、年間を通して出店サポート業務を行うほか、実際に新規出店をする事業者が出てきた場合には序盤の伴走支援を行うほか、引き続き空き地・空き店舗情報の収集に努めながら新規出店の機運醸成を図っていく。

③．空き家・空き店舗リノベーション事業（民間事業者）

事業実施期間	令和7年度～令和11年度【実施中】
事業概要	地域に眠る遊休不動産を掘り起こし、それを活用したいと考える事業者・アーティストの意向のもとに改修を行うと共に、その運営を通して起業支援・移住促進を行う
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	民間事業者間のマッチングにより実施される事業であり、昨年度についてはマッチングが成立しなかったため、事業の実施に至らなかった。 なお、別事業である二地域居住促進ツアーにおいて、30名程度が中心市街地に宿泊をしており、その中で活用者等の掘り起こしを実施した。
事業の今後について	令和8年度は民間事業者において遊休不動産の掘り起こしを実施予定であり、マッチングに向けた機運醸成を図っていく。

④．マンガクリエイター支援事業（石巻市、(株)街づくりまんぼう）

事業実施期間	令和5年度～令和11年度【実施中】
事業概要	「ヒトコマ」など中心市街地で行われるマンガの創作やアート活動を行う人材の育成及び支援事業に対して補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月

事業目標値・最新値 及び進捗状況	マンガ・アニメに関するクリエイターの育成及び交流に関する活動に対し、1件の補助金を交付。補助申請者は当該活動により、22回の教室型イベントを開催し、233名の参加者があったほか、実施したワークショップでは1,085名が参加したほか、事業期間中の施設利用者数が14,000名にのぼるなど、中心市街地の活性化と交流人口の拡大に寄与した。
事業の今後について	事業成果を踏まえながら事業の進捗を図るとともに、将来的な事業継続性については検討を重ねていく。

⑤．創業支援事業（石巻市）

事業実施期間	平成26年度～令和11年度【実施中】
事業概要	創業を予定している方や創業後間もない事業者に対し、無料相談や創業塾の実施といった創業のための知識習得の支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値 及び進捗状況	創業に係るスキルを学ぶ「創業開成塾」をはじめとする各種セミナー・相談会を実施し、創業に必要な知識の習得を支援した結果、8人が市内で創業に至った。さらに、事業者の経営のステップアップ及び早期廃業の防止を図るため、創業から3年以上経過した事業者を対象とする新たな補助制度「創業者持続化事業費補助金」を創設し、3件を交付するなど、フォローアップの強化に努めた。他方、上記のうち中心市街地に出店した事業者は0人であった。創業地の選定は事業者の判断による部分が大きく、コントロールが難しいことが一因である。
事業の今後について	各支援機関と連携しながら、創業希望者に対し適切な支援を提供することで、「新規創業・第二創業者数」の向上に努める。また、「創業者持続化事業費補助金」により創業後のフォローアップを図るとともに、効果検証を通じて、より効果的な支援策の検討を行う。また、中心市街地への出店を促す情報提供を実施するなど、可能な範囲で中心市街地への新規出店を図っていく。

⑥．文化通り再生事業（民間事業者）

事業実施期間	令和7年度～令和11年度【実施中】
事業概要	かつて映画館などが立ち並んだ通りに、民間事業者による連

	鎖的なリノベーションによって拠点を整備することで、新たなカルチャーをテーマとした賑わいを生み出す。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年6月に当該エリア内にチャレンジショップである「石巻ブンカボックス」がオープンし、2店舗が3～6か月の期間限定で利用したことで、新たな賑わいの創出や交流人口の増加に寄与した。
事業の今後について	現在、「石巻ブンカボックス」の2階部分が工事中であることから、完成次第、若い感性の人たちを対象に貸与を実施していく。また、チャレンジショップからの新規出店に向けたフォローアップを関連事業と連携して実施するなど、引き続き新たなカルチャーをテーマとした賑わいを生み出す企画を実践することで、エリア全体としての文化的価値の向上、雰囲気づくりを深化させていく。

⑦．街なか創業・事業承継支援事業（石巻商工会議所）

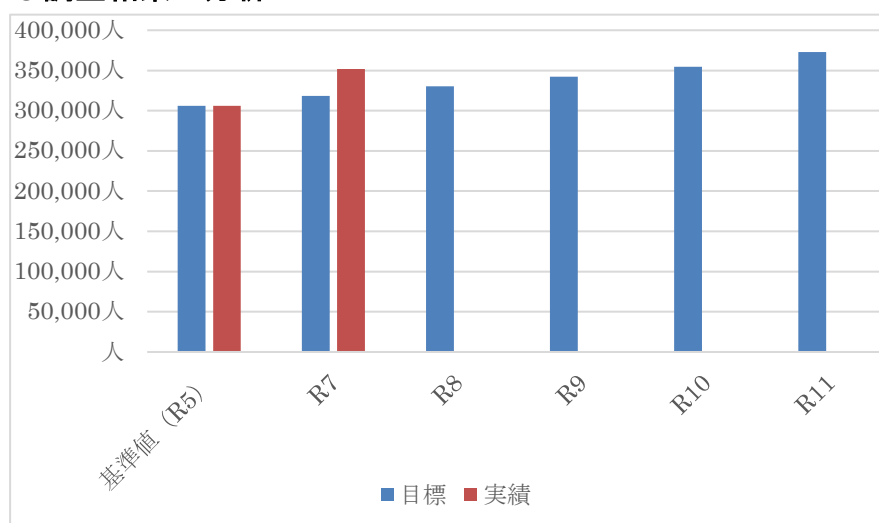
事業実施期間	平成23年度～令和11年度【実施中】
事業概要	創業を希望する人や商店等の事業承継を希望する人に対し、補助金等に関する情報提供やセミナーの開催、経営指導等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	創業を希望する7事業者に対し、融資制度や補助金の紹介を行った。また事業承継については個別相談会を通じ8事業者へ補助金等の情報の提供を行い、併せてセミナーを開催したことで、中心市街地への出店や事業継続に寄与した。
事業の今後について	今後も同様に支援事業を実施するほか、「街なか出店サポートセンター」と連携し、より一層多くの新規出店者を支援することで、中心市街地への出店や事業継続に繋げていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

これまでの調査結果から主要事業は概ね順調に進捗しており、今後は、空き地・空き店舗活用助成金及び街なか出店サポート事業に特に注力する形で、新規出店数の増加に取り組むことで、目標達成は可能と見込まれる。

(2)「市民交流施設 8 施設の利用者数 (人/年)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 1
6 参照

●調査結果と分析



区分	目標	実績
基準値 (R5)	306,154人	306,154人
R7	318,249人	351,967人
R8	330,344人	
R9	342,439人	
R10	354,534人	
R11	373,000人	

(内訳)

NO.	施設名	区分	R5 (基準)	R6 (参考)	R7	R8	R9	R10	R11
1	あいプラザ	目標	-	-	77,207	80,406	83,605	86,804	90,000
		実績	74,008	84,920	87,367				
2	旧親慶丸	目標	-	-	10,138	10,779	11,420	12,061	12,700
		実績	9,497	8,109	9,600				
3	かわべい	目標	-	140,000	134,920	136,920	138,920	140,920	150,000
		実績	132,920	148,399	140,306				
4	アイトピアホール	目標	-	-	4,610	4,708	4,806	4,904	5,000
		実績	4,512	4,483	5,695				
5	らいつ	目標	-	-	31,142	30,856	30,570	30,284	30,000
		実績	31,428	34,099	33,040				
6	ささえあいセンター	目標	-	-	20,272	24,205	28,138	32,071	36,000
		実績	16,339	30,625	35,033				
7	寿楽荘	目標	-	-	15,554	16,665	17,776	18,887	20,000
		実績	14,443	15,391	15,777				
8	中央公民館	目標	-	-	24,406	25,805	27,204	28,603	30,000
		実績	23,007	22,419	25,149				
合計		目標	-	-	318,249	330,344	342,439	354,534	373,700
		実績	306,154	348,445	351,967	0	0	0	0
目標比					110.6%				

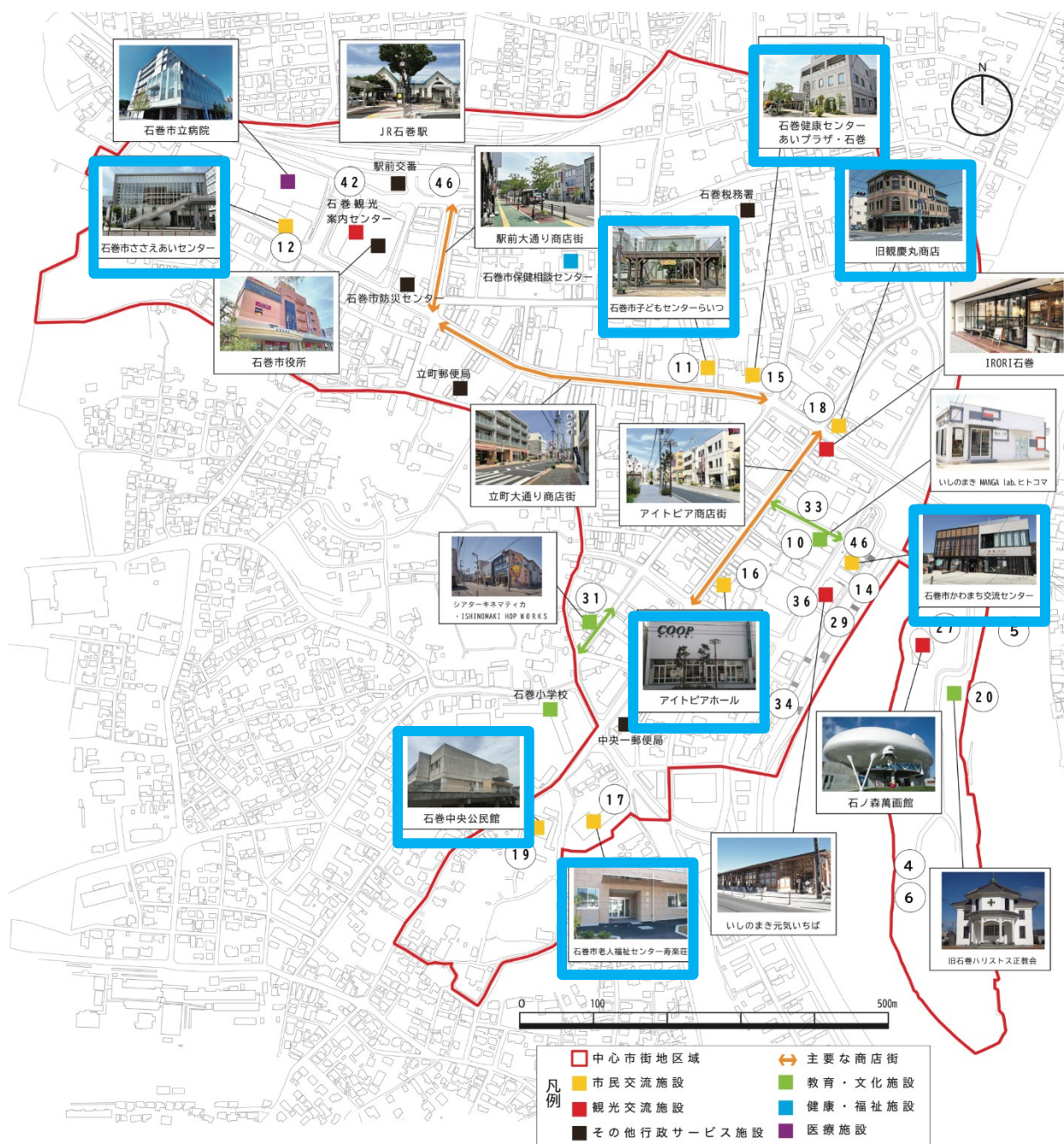
※調査方法：各施設運営（管理）者からの報告

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：石巻市、㈱街づくりまんぼう

※調査対象：市民交流施設 8 施設の利用者数

(調査地点図) ※青枠の施設が調査対象施設



〈分析内容〉

市民交流施設8施設の利用者数の増加に向けた各事業については、概ね順調に推移し、予定どおり完了した。年度目標値より33,000人ほど多くの方に利用いただけたため、令和7年度は目標比110%の結果となった。8施設それぞれの年度目標に対し、7施設で年度目標を超える結果となり順調に推移した。特に地域包括ケアを推進する拠点施設ささえあいセンターでの利用者数が年度目標を大きく上回り目標比172%となった。ささえあいセンターの利用者構成比は、一般が65%、石巻市が25%、社会福祉協議会が10%の構成比となっており、一般の方の利用が増えていることが好調の一因となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① ． 街なか居場所づくり事業（石巻市、民間事業者、石巻専修大学）

事業実施期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度【実施中】
事業概要	遊休不動産や既存施設の空きスペースを活用することにより、高校生や大学生などの若者世代、子育て世代の交流促進に資する空間の整備運用に向けて社会実験等を行いながら検討する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	石巻まちなかエリアプラットフォームと連携し、若者（高校生、大学生）が参加するワークショップを実施。計 2 回開催し、ワークショップ内で出された提案を中心に行政（石巻市長）への提言を実施するなど精力的な活動を実施した。
事業の今後について	引き続きワークショップ等を開催しながら、若者世代や子育て世代の交流が促進される居場所づくりについて検討を行い、空間の整備等に向けた社会実験を実施する。

② ． 石巻市子どもセンター事業（石巻市（指定管理者））

事業実施期間	平成 2 5 年度～令和 1 1 年度【実施中】
事業概要	子どもの権利を柱に、子どもの声を事業や運営に生かした児童館運営を行い、子どもと地域や社会がつながるきっかけをつくる。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 子ども・子育て支援交付金（こども家庭庁） 【実施時期】 令和 7 年度～令和 1 1 年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 3 0, 0 0 0 人 【最新値】 3 3, 0 4 0 人（令和 7 年度利用者数） 石巻市子どもセンター「らいつ」の令和 7 年度利用者数は 3 3, 0 4 0 人となり、目標値である 3 0, 0 0 0 人を大きく上回る実績となった。子どもたちの声を取り入れ、地域と連携しながら各種事業を展開することにより、子どもたちが安心して過ごせる居場所として効果を発揮し、目標を上回る利用者数となったと考えられる。
事業の今後について	石巻市「こどもまんなか」宣言、石巻市こども計画等の理念を踏まえ、引き続き、子どもの権利を柱に、子どもたちの声を事業や運営に取り入れ、地域や関係団体と連携しながら「こどもまんなか」の意識や機運が中心市街地のみならず、石巻市全域に波及していくように展開していく。

③．ささえあいセンター活用事業（石巻市）

事業実施期間	令和２年度～令和１１年度【実施中】
事業概要	地域包括ケアを推進する拠点として相談窓口の設置や次世代型地域包括ケアの機能に沿った活用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 子ども・子育て支援交付金（こども家庭庁） 母子保健衛生費国庫補助金（妊娠・出産包括支援事業）（こども家庭庁） 【実施時期】 令和７年度～令和１１年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 ３６，０００人 【最新値】 ３５，０３３人（令和７年度利用者数） 令和７年度利用者数は３５，０３３人となり、目標値である３６，０００人に大きく近づく実績となった。地域包括ケア推進のため、関係機関や庁内各課と連携し、事業を推進したことが事業成果につながったと考えられる。
事業の今後について	今後も様々な支援の調整、医療・介護連携など事業推進のための場（ネットワーク会議、地域ケア会議等）として活用を推進していく。

④．石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業（石巻市（指定管理者））

事業実施期間	平成３０年度～令和１１年度【実施中】
事業概要	石巻市かわまち交流センター、石巻市かわまち立体駐車場、石巻市かわまち交通広場及び石巻市かわまち交流広場を指定管理により運営し、観光ハブ機能を有し、市民や観光客が気軽に利用できるスペースとして、サロン・ミーティングスペース・キッチン等の利用開放や、観光情報案内、イベントの開催等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 １５０，０００人 【最新値】 １４０，３０６人（令和７年度利用者数） 令和７年度は約１４万人の方が石巻市かわまち交流センターを利用した。年度目標値は１４．２万人であったことから、２，０００人ほど目標に届かなかった。これは利用者が増加するゴールデンウィーク期間中に人数をカウントするカウンターが故障したことで同期間中の利用人数を０人でカウントしたことが要因と考えられる。参考として令和６年度の同期間の利用者数は５，８９２人であったことから、故障がなければ年度目標値を達成していたと想定される。

事業の今後について	前年度以上にイベントの実施を企画・立案することや利用者の利便性向上に努めることで利用者数の増加を図ることとする。
-----------	--

⑤ . 石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業（石巻市（指定管理者））

事業実施期間	平成21年度～令和11年度【実施中】
事業概要	健康・福祉の拠点施設として各種講座の展開や、プールやジム等の施設提供を行うことで、地域住民の健康づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 90,000人 【最新値】 87,367人（令和7年度利用者数） 月額会員制度を導入し会員の利便性が向上し、また、利用者のニーズに沿った講座を開設することにより、前年度と比較して約2,000人利用者数が増加した。
事業の今後について	地域住民にとって、本施設がコミュニティ活動の場となるよう、利用者等の要望や意見を取り入れながら、各種講座及び利用満足度の高いイベント等を実施し、集客及びにぎわいの創出を図るとともに、健康づくりのさらなる推進を図る。

⑥ . まちなかコミュニティホール活用事業（旧生協）（みやぎ生活協同組合、（株）街づくりまんぼう）

事業実施期間	平成24年度～令和11年度【実施中】
事業概要	旧みやぎ生協アイトピア店を改修し、みやぎ生協と街づくりまんぼう等の連携のもと、各種イベントや講演会、勉強会等を開催し、市民が集えるまちなかのホールとして活用する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 5,000人 【最新値】 5,695人（令和7年度利用者数） 目標値を上回る結果となったのは、令和7年度からの新たな取組が本施設で開催されるようになったためと分析している。石巻市中央地区まちづくり協議会が中心となり、温かい料理を通じた、住民主体の見守り活動「地域食堂『たまりば』」が月1回程度開催されており、地域住民の居場所づくりに貢献している。
事業の今後について	市民が集まるホールとして、認知度を上昇させると共に、交流イベント等を増やすことで、引き続き活用頻度の向上に努めていく。

⑦．老人福祉センター寿楽荘活用事業（石巻市（指定管理者））

事業実施期間	平成２８年度～令和１１年度【実施中】
事業概要	娯楽室や談話室、男女別の入浴施設を有する寿楽荘を拠点として各種事業（高齢者の健康・生きがづくりなど）を実施し、地域交流の場として運営する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】２０，０００人 【最新値】１５，７７７人（令和７年度利用者数） 令和７年度の年度目標値は１５，５５４人であったことから、計画どおりに事業を進捗することができた。
事業の今後について	今後も引き続き事業効果の維持が図られるようモニタリング等を実施しながら事業を継続していく。

⑧．旧観慶丸商店保存活用事業（石巻市（指定管理者））

事業実施期間	平成３０年度～令和１１年度【実施中】
事業概要	市指定文化財である歴史的建造物の保存を図りつつ、中心市街地における歴史・芸術・文化発信拠点として位置づけ、近辺の文化施設や産業施設と連携を図り運営する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】１２，７００人 【最新値】９，６００人（令和７年度利用者数） 令和７年度の年度目標値は１０，１３８人であったことから、年度目標値は若干下回る結果となったものの、令和６年度と比較すると約１，５００人の増加となっていることからさらなる創意工夫に努め、利用者数の増加を図る。
事業の今後について	近辺の文化施設や産業施設と連携を図りながら、集客のためのさらなる創意工夫に努めていく。

⑨．石巻中央公民館管理運営事業（石巻市）

事業実施期間	昭和４５年度～令和１１年度【実施中】
事業概要	市民が主体的に学習活動を展開する「学びの場」として、市民の生涯学習の推進に向けて運営する。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 国の支援措置なし

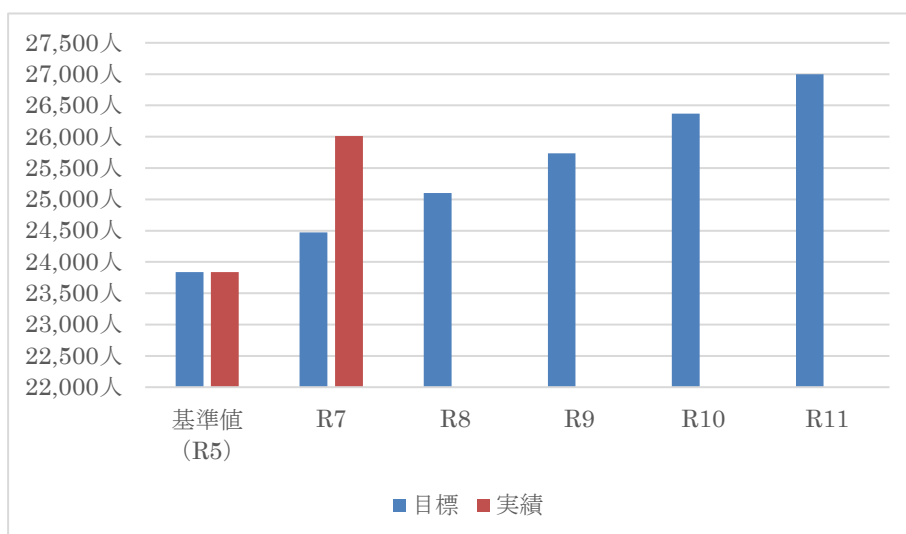
事業目標値・最新値 及び進捗状況	【目標値】 30,000人 【最新値】 25,149人（令和7年度利用者数） 令和7年度の年度目標値は24,406人であったことから、年度目標値を上回る結果となった。各種講座の実施に加え、世代間交流や地域団体との連携を進め、幅広い世代が集い学び合える場づくりに努めた。
事業の今後について	今後も、地域づくりの学習活動拠点として、地域課題の解決に役立つ公民館事業を展開していく。令和7年度は利用者数が前年度比12.2%増と大きく伸びたが、今後は人口減少や少子高齢化により、利用者の確保はさらに厳しくなることが見込まれる。このため、この成果を継続的な利用につなげることが重要であり、事業内容の充実や情報発信の強化を図りながら、新たな利用者の確保に努めていく。また、地域の関係機関や各種団体との連携を深め、公民館が地域活動の拠点として、持続可能な地域づくりに取り組んでいく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

これまでの調査結果から主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と想定される。その一方で、1施設においては年度目標値を下回る結果となったことから、今後は、利用者数が伸び悩んでいる施設の利用者数の増加に取り組むことに加え、各施設の利用者を街なかへ誘導するような施策を実施することで、中心市街地のさらなる活性化を図っていく。

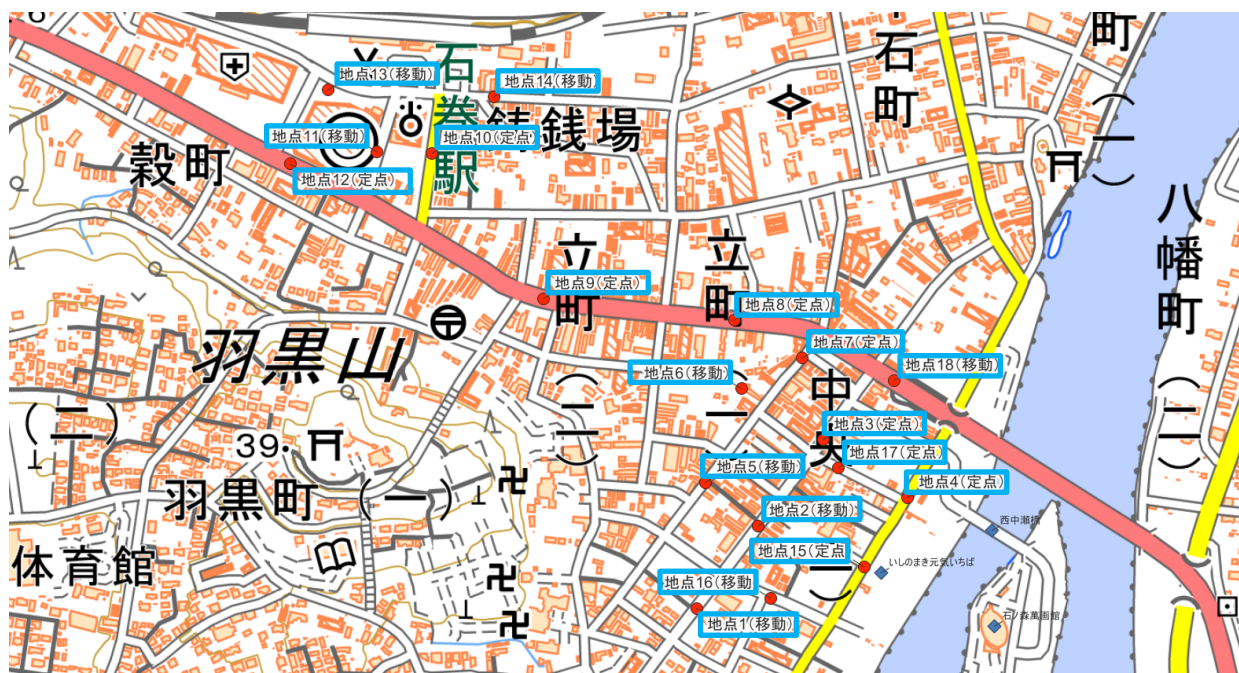
（3）「歩行者・自転車通行量（人）」※目標設定の考え方認定基本計画P.16～P.17参照

●調査結果と分析



区分	目標	実績
基準値 (R5)	23,837人	23,837人
R7	24,470人	26,013人
R8	25,103人	
R9	25,736人	
R10	26,369人	
R11	27,000人	

(調査地点図)



※調査方法：歩道に設置した椅子に調査員が座り観測、調査対象箇所を通過する歩行者と自転車について、方向別・時間帯別・属性別に観測

※調査月：令和7年10月31日、同年11月2日

※調査主体：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

※調査対象：中心市街地内18地点における歩行者及び自転車の通行量

10月31日(金)								
No.	地点名	9時間通行量			通行量順位			
		R5	R6	R7	前年度比 (R7/R6)	R6	R7	
1	中央一大通り	236	294	266	90.5%	12	13	
2	アイトピア大町	230	182	216	118.7%	16	15	
3	アイトピア中央銀座	349	353	316	89.5%	10	10	
4	橋通り	178	254	263	103.5%	13	14	
5	寿町みなみ通り	382	352	398	113.1%	11	9	
6	ことぶき町ポケットパーク	274	180	82	45.6%	17	18	
7	ことぶき町	277	251	282	112.4%	14	12	
8	立町大通り東側	750	684	979	143.1%	3	2	
9	立町大通り西側	882	715	848	118.6%	2	3	
10	駅前大通り	481	565	507	89.7%	7	6	
11	市役所おまさか通り	244	168	212	126.2%	18	16	
12	穀町大通り	692	661	651	98.5%	4	4	
13	市役所庁舎北側	686	600	580	96.7%	5	5	
14	JR石巻駅東側	842	600	480	80.0%	5	7	
15	いしのまき元気いちば前	1,806	1,942	1,966	101.2%	1	1	
16	石巻ガス前	244	442	424	95.9%	8	8	
17	旧COMMON-SHIP橋通り前	228	195	297	152.3%	15	11	
18	旧観慶丸前	325	392	138	35.2%	9	17	
継続地点No.地点1～12 計		4,975	4,659	5,020	107.7%	—	—	
地点No.1～18 計		9,106	8,830	8,905	100.8%	—	—	

11月2日(日)							
No.	地点名	9時間通行量			前年度比 (R7/R6)	通行量順位	
		R5	R6	R7		R6	R7
1	中央一大通り	268	366	292	79.8%	14	16
2	アイトピア大町	304	532	620	116.5%	10	10
3	アイトピア中央銀座	638	579	1,143	197.4%	7	4
4	橋通り	319	365	1,024	280.5%	15	6
5	寿町みなみ通り	502	372	308	82.8%	13	14
6	ことぶき町ポケットパーク	138	278	226	81.3%	17	18
7	ことぶき町	444	298	400	134.2%	16	13
8	立町大通り東側	932	975	1,671	171.4%	3	2
9	立町大通り西側	1,001	1,002	1,490	148.7%	2	3
10	駅前大通り	909	692	954	137.9%	5	7
11	市役所おまさか通り	94	108	260	240.7%	18	17
12	穀町大通り	483	657	572	87.1%	6	11
13	市役所庁舎北側	430	530	664	125.3%	11	9
14	JR石巻駅東側	430	558	300	53.8%	8	15
15	いしのまき元気いちば前	5,480	3,631	4,760	131.1%	1	1
16	石巻ガス前	906	548	924	168.6%	9	8
17	旧COMMON-SHIP橋通り前	569	442	1,048	237.1%	12	5
18	旧観慶丸前	884	704	452	64.2%	4	12
継続地点No.地点1～12 計		6,032	6,224	8,960	144.0%	—	—
地点No.1～18 計		14,731	12,637	17,108	135.4%	—	—

〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。前年度と比較して平日は横ばい、休日は約30%の増加となった。また、平日は「立町大通り東側」と「旧COMMON-SHIP橋通り前」で、対前年比で約40%以上の増加。休日は「アイトピア中央銀座」「橋通り」「立町大通り東側」「立町大通り西側」「市役所おまさか通り」「石巻ガス前」「旧COMMON-SHIP橋通り前」で約50%以上の増加となった。なお、休日は三連休の中日であったことから、観光客が多く訪れたと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 中瀬公園利活用検討推進事業（石巻市、民間事業者）

事業実施期間	令和7年度～令和9年度【実施中】
事業概要	中瀬公園を、民間事業者による営業活動や市民活動を中心に運営する手法について、社会実験を重ねながら検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 社会資本整備総合交付金（都市公園・緑地等事業）（国土交通省） 【実施時期】 令和7年度～令和9年度

事業目標値・最新値 及び進捗状況	中瀬公園の利活用を目的に社会実験（ガーデンづくり、養蜂活動、デイキャンプ）を行い、延べ280人以上の参加があった。実施結果が好評であったことから、求められるニーズや方向性について検証が進んだ。
事業の今後について	社会実験により得た成果や課題を活用し、今後の中瀬公園の管理・運営について、本公園のコンセプトにあった事業スキームを検討する。また、活動意欲のある市民を募り、社会実験を継続していく。

②．石巻マンガロード整備活用・発信事業（石巻市、(株)街づくりまんぼう）

事業実施期間	平成13年度～令和11年度【実施中】
事業概要	石巻駅前、石ノ森萬画館、市役所等の中核施設を結ぶ商店街通りを「石巻マンガロード」として位置づけモニュメント等を整備してきた。今後も中心市街地の魅力創出のためマンガモニュメントの追加設置やウェブサイトの運用を中心とした情報発信を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値 及び進捗状況	令和7年度はベンチアートを2基設置するハード整備を行ったことで、累計34基のモニュメントを中心市街地に整備した。また、マンガロードの周遊を促すWEBサイトの運営を実施したことで中心市街地の回遊性を向上させ、街なかの滞在時間の増加へ寄与した。
事業の今後について	令和8年度はモニュメント1基の修繕を行うほか、引き続きウェブサイトや紙面等でのPRを継続していく。

③．中心市街地調査検証業務（石巻市）

事業実施期間	令和2年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地の自転車・歩行者通行量等の調査・分析を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月

事業目標値・最新値 及び進捗状況	【目標値】 27,000人 【最新値】 26,013人 例年に引き続き平日、休日にそれぞれ1日ずつ自転車及び歩行者の通行量調査を実施した。令和6年度と比較すると平日は横ばいではあったものの、休日は30%増の結果となっており、特に川沿いエリア、とりわけ「いしのまき元気いちば前」の通行量が最も多い結果となった。
事業の今後について	引き続き調査を継続していく。

④．街なかイベント開催助成金事業（石巻市、民間事業者（石巻商工会議所））

事業実施期間	令和3年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地における活発な交流人口の拡大等を図るため、文化・芸術活動の促進、賑わいの創出やイベントの開催に助成を行う。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値 及び進捗状況	12件の街なかイベントへの補助を実施。累計参加者数は14,000人以上となったことで街なかの賑わい創出に大きく寄与した。
事業の今後について	引き続き、街なかイベントへの助成を継続し、賑わい創出の機運を醸成していくほか、助成イベントの継続化・定着化を図っていく。

⑤．石巻かわまちエリアプラットフォーム取組推進事業（石巻市、都市再生推進法人、民間事業者、他）

事業実施期間	令和7年度～令和11年度【実施中】
事業概要	未来ビジョンの実現に向けて、関係事業者が協議・情報共有の場を設け、各取組を円滑かつ効率的に進める。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 官民連携まちなか再生推進事業（国土交通省） 【実施時期】 令和7年度～令和11年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	令和7年1月に石巻まちなかエリアプラットフォームを設立し、令和7年度においては、情報発信媒体の整備、勉強会やシンポジウムを開催し、未来ビジョンの共有や新たなプレイヤーの発掘に繋がる活動を行った。

事業の今後について	令和8年度は、まちなかの居場所づくりのための公共空間を活用した社会実験の実施、遊休不動産の利活用促進を目的とした「空き店舗ツアー」等を実施する。
-----------	--

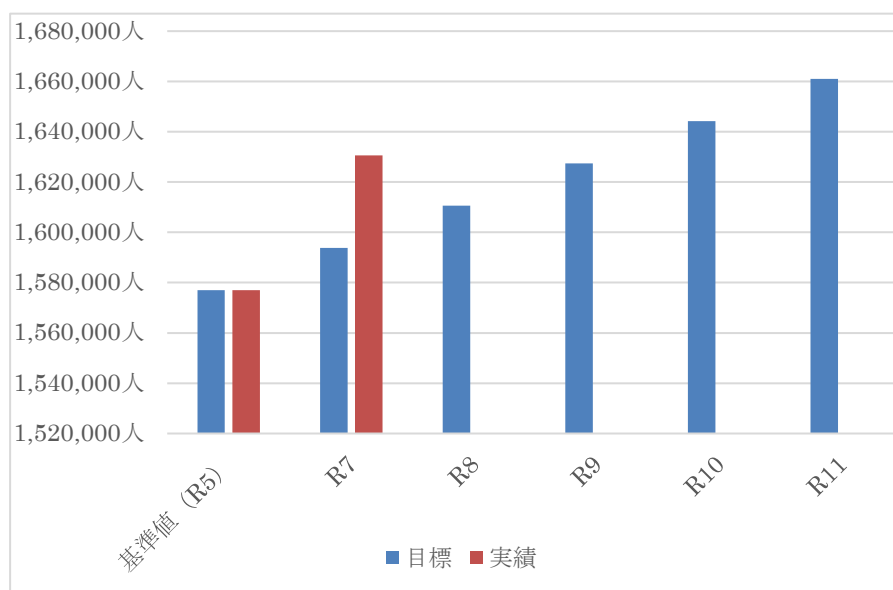
⑥．デジタルサイネージ管理・運用事業（石巻市、(株)ミヤコーバス、ＪＲ東日本、網地島ライン(株)）

事業実施期間	令和7年度～令和11年度【実施中】
事業概要	駅前・川沿いエリアに設置したデジタルサイネージを活用した街なかの情報発信により、インバウンドを含む来訪者の利便向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	【支援措置】 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 【実施時期】 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔進捗状況〕 鉄道、バス、離島航路などの公共交通情報に加え、食事やおみやげ、周辺のトイレ、緊急時の避難場所などの情報を配信し、来訪者の利便性向上に寄与した。
事業の今後について	タッチパネル式のサイネージであることから、利用者がどのような情報に興味・関心を抱いているかを分析し、配信情報のブラッシュアップを図りながら、引き続き情報発信に努める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

これまでの調査結果から主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と想定される。その一方で、川沿いエリアと石巻駅周辺を比較すると、歩行者数に開きがある状況であることから、今後は、川沿いエリアと石巻駅周辺を結ぶような取組を実施していくことで、中心市街地のさらなる活性化を図っていく。

(4) 〈参考指標〉「川沿い2施設(石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば)の利用者数(人/年)」※目標設定の考え方認定基本計画P.17～P.18参照



区分	目標	実績
基準値 (R5)	1,576,973人	1,576,973人
R7	1,593,777人	1,630,648人
R8	1,610,585人	
R9	1,627,389人	
R10	1,644,196人	
R11	1,661,000人	

※調査方法：各施設運営(管理)者からの報告

※調査月：令和8年3月

※調査主体：石巻市

※調査対象：石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば

〈分析内容〉

川沿い2施設(石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば)の利用者数の増加に向けた各事業については、概ね順調に推移し、予定どおり完了した。石ノ森萬画館については常設展示のリニューアル工事のため1か月半ほどの休館期間があったことから、次年度以降はさらに利用者数を伸ばすことができると見込まれる。

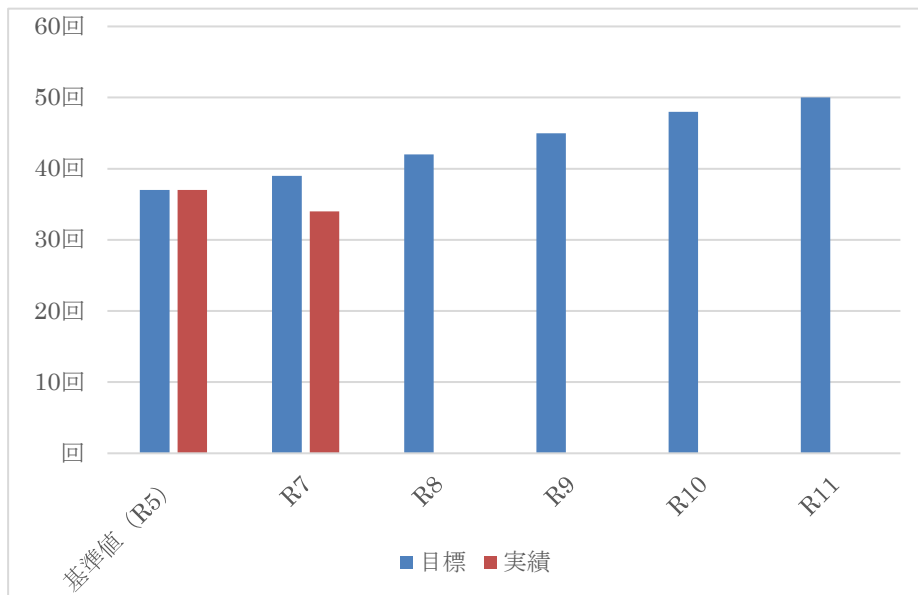
●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

—

●目標達成の見通し及び今後の対策

利用者数は概ね順調に推移していることから、目標達成は可能と見込まれる。目標値にかなり近い実績を出すことができたため、次年度以降は前倒しで目標を達成できるよう、各施設での集客に努めていく。

（５）〈参考指標〉「川沿いエリア（かわまち交流広場、かわまちオープンパーク（堤防一体空間））でのイベント数」※目標設定の考え方認定基本計画P. 17～P. 18参照



区分	目標	実績
基準値 (R5)	37回	37回
R7	39回	32回
R8	42回	
R9	45回	
R10	48回	
R11	50回	

※調査方法：各施設運営（管理）者からの報告

※調査月：令和8年3月

※調査主体：石巻市

※調査対象：かわまち交流広場、かわまちオープンパーク

〈分析内容〉

川沿いエリアでのイベント数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了したものの、基準値を下回る実績となった。基準値となる令和5年度はかわまち交流広場がオープンした年であり、オープン関連イベントや能登半島地震を支援するイベント等が実施された。これに代わるイベントが実施されなかったため、基準値に達しなかったものの、令和6年度実績（29回）と比較するとイベント実施数は増加傾向にあるため、次年度以降はさらなるイベント回数の増加を図り、賑わいの創出に繋げていく。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

—

●目標達成の見通し及び今後の対策

次年度以降はさらにイベント回数の増加を図っていくこととしているため、目標達成は可能と見込まれる。今後は、街なかイベント開催助成金事業を活用しながら街なかでのイベント開催回数の増加に取り組むとともに、各拠点施設から観光客を商店街やその他の各観光拠点に誘導するための施策を検討していく。このような取組を官民連携して実施していくことで、中心市街地全体に効果を波及させていく。